

題名 グラウンド開放に伴う施工期間の制限対応（施工計画）

静岡地区 木内建設株式会社

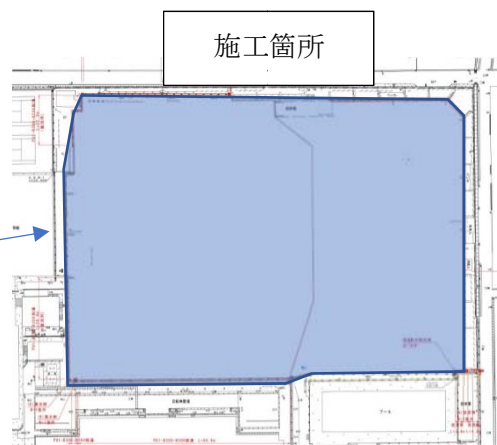
主 CPDS 番号 00163012 : 諸田 政典

副 CPDS 番号 00141314 : 中西 淳

1. はじめに

工事概要

- (1) 工事名 : 平成 30 年度[第 29-K2459-01 号]
二級河川巴川流域貯留浸透事業（防災・安全交付金）工事
- (2) 発注者 : 静岡県静岡土木事務所 都市計画
- (3) 工事場所 : 静岡県静岡市葵区長谷町 地先
(静岡県立静岡高等学校)



(4) 工期 : 平成 30 年 11 月 22 日 ~ 平成 31 年 3 月 22 日

(5) 工事内容 : 敷地造成工・雨水排水設備工・施設設備工

工事目的

[浸水被害の抑制工事]

市街地では、雨が表流水となって短時間で水路や河川に流れ込むため、増水や排水不良による浸水被害が起こりやすくなります。

本工事では、校内に降った雨水を一時的にグラウンドに貯め、時間をかけて校外へ流すための工事を行いました。

2. 現場における問題点

○高校グラウンド内での作業の為、作業期間・作業日・作業時間に制限がある。

11月22日の工期開始の翌日の11月23日に学校にて打合せを行った。
学校との打合せにより、下記の要求事項がありました。

① 発注時の施工条件事項は平成30年12月中旬から平成31年1月中旬間にグラウンド舗装及びバックネット周辺側溝工施工完了

→ 野球部が年明けから練習をする為、バックネット周辺側溝工および野球部使用範囲のグラウンドを12月末には開放すること
(当初施工条件事項との相違)

② 1月中旬より体育の授業でマラソン大会の練習を行うので、多目的グラウンドを半分を開放すること。

③ 野球部以外の部活動が活動できるよう、出来るだけ早くグラウンドを開放すること。

④ 3月初旬に野球部の練習試合があるため、それまでにグラウンドを全開放すること。
(1月初旬に学校から要求)

上記条件を満たすための、施工工程・施工計画の検討が重要となった。

3. 工夫・改善点とその結果

学校との打合せにより、施工内容・施工条件・施工環境等を十分に把握しないなか、現場をスタートしなければならなかった。

① 1ヵ月でグラウンドの一部の施工を完了させ、開放すること。

② 事前調査、施工計画、設計照査、材料納入状況、協力業者の選定、仮設計画（現場事務所・休憩所・安全施設）等の準備を早急に行う必要があること。

改善策

① 工事内容及び開放エリアの把握

→ 高校要求のエリアと現場理解に相違が生じないように、設計図に色分けを行い、

高校と範囲の確認を綿密に行った。

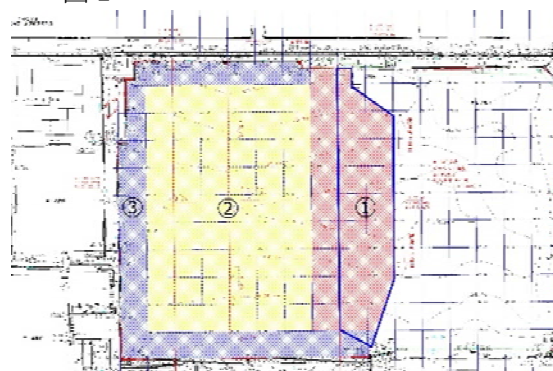
*図1



図1は、学校側の要求事項を反映し、設計図の色分けを行った。この図をもとに施工手順を考慮し、再検討を行った。

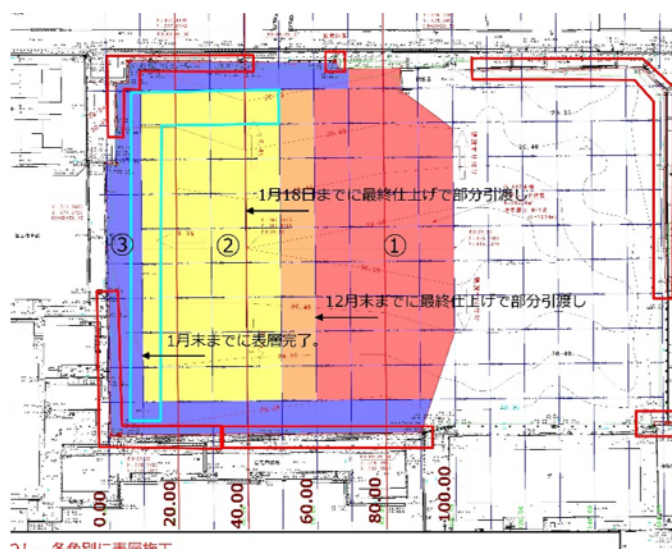
図2は、施工手順・ダンプ経路等を考慮した、設計図の色分けである。

*図2



右記の図は図2をもとに、各イベントの開放に向け協力会社と施工可能数量の打合せを実施した図です。

学校及び発注者とは、11/28・11/30・12/4と、施工内容・施工手順・開放箇所・開放予定日等細かく打合せを行った。打合せにより学校、発注者、施工者の三者の共通理解のもと施工を開始した。



4. まとめ

今回の工事では、当初発注者（静岡県）と学校（静岡県教育委員会）との事前打合せが不完全の中での工事スタートでした。お互いの考え方が違う中、グラウンド開放の遅れないように工事を進めることができました。事前準備の際、会社からの協力・協力業者の施工協力（土日作業・残業）があり、無事に学校希望日にグラウンドを開放することができました。

施工開始前の準備期間が短い程、会社・協力業者の協力が必要なのがよく解りました。